

独立行政法人や公益法人の無駄を洗い出す「事業仕分け」第2弾の作業グループ初会合が2日、都内で開かれ、昨年の衆院選で初当選した民主党の斎藤恭紀（宮城2区）、石山敬貴（宮城4区）両氏が、仕分け調査員として参加した。

2人は、参院選マニフェ

民主「事業仕分け」第2弾

スト（政権公約）への提言を検討する地域主権・規制改革研究会（玄葉光一郎会長）の呼び掛けに応募。斎藤氏は厚生労働省と環境省、石山氏は文部科学省と法務省の仕分け班に所属し、12日までに同僚議員と調査報告を取りまとめる。

斎藤、石山両議員が参加

H22.4.3 河北新報

斎藤氏は「国にたまったぜい肉を落とすことは党の使命だ。鳩山政権への信頼回復につなげたい」と強調。石山氏は「科学技術分野などで専門知識を生かす。単なる切り捨てだけでなく、必要な事業と無駄を見極めたい」と抱負を述べた。